



家族が「がん」と診断されたとき、 どうしたらいい？

患者さんの気持ちや希望を大切に ～ご家族の気持ちも大切に～

がんと診断されたときには、患者さんもお家族も、さまざまな気持ちを経験します。

1 気持ちを理解し合う

「不安」「気持ちの落ち込み」は、多くの方が経験する心の状態です。
心配が頭から離れない、楽しめない、食欲がないなど、反応は人それぞれです。

2 そばにすることが支えになる

「あなたがいてくれること」そのものが支えになります。
「うまくサポートできるか」と過度に不安にならず、一步一步進みましょう。

3 「よかれと思って」も配慮を

なんとか治ってほしいという思いから、よいと思うことを強く勧めると、
かえってご本人の心の負担になる場合があります。

「あなたがいてくれること」そのものが支えになる

ひとりで抱え込まず、どうぞお気軽にご相談ください

患者サポートセンター内 がん相談支援センター